

令和3年度こおりやま☆カイゼン運動事例発表会について

報告事項

- ・各所属より報告のあった21件のカイゼン事例から、職員の事前投票により上位3事例を選出。
- ・上位3事例による事例発表会を実施する。

1 実施方法

動画配信により上位3事例の事例発表を実施し、投票にて最優秀事例を決定する。

2 投票者・講評者

- ・市関係者：市長、副市長（2）、上下水道事業管理者、教育長、代表監査委員、各部局長（21）計27名
- ・講評者：日本大学工学部 教授 林 隆史 氏(郡山市行財政改革推進委員会委員長)
社会福祉法人郡山清和救護園理事長 難波 朝重 氏(郡山市行財政改革推進委員会委員)

※市長及び講評者の方からは、投票と併せて講評をお願いします。

3 スケジュール

日程	内容
1月18日（火）～1月28日（金）（予定）	動画視聴・投票（かんたん電子申請による投票） （1事例5分程度）
2月上旬	カイゼン通信による結果発表

※動画配信については、市議会議員、こおりやま広域圏市町村職員、郡山市財団等職員、市職員へ案内予定です。

4 優秀上位3事例

タイトル	毎月の集計作業を自動化してスッキリ！	
チーム名	チーム債権管理（収納課）	
カイゼン内容	Before	After
	債権管理で回収している債権は、庁内各課にまたがり、かつ、分割納付など納付方法も複雑なため、その集計作業とそのチェックには、2人がかりで3～5日間ほどの労力と時間がかかっていた。	移管債権のデータベースを作成し、債権ごとの回収状況を整理、毎月の集計作業を自動化できるようエクセル関数を駆使した集計表を作成した。また、所管課より毎月報告される収納状況データ取込みフォーマットを作成し、収納データベース化し自動集計及び債務者・債権名称ごとの個人収納履歴の自動作成できるようにし、分割納付の管理簿、差押による継続債権管理簿、移管外債権及び助っ人制度の債権回収管理等も自動で集計する機能も搭載した。これによりデータをコピーすれば1クリックで毎月の集計作業を完了できるようになり、かつ、月例報告書の作成も自動化した。月例報告書の外、年度債権管理件数、年度回収額、月別移管債権額、月別収納額及び月別差押換価額等の集計表も自動で作成されるようになり、債権管理状況を可視化した。
タイトル	RPAを使って、り災証明書を迅速に発行！	
チーム名	資産税課り災証明書発行班（資産税課）	
カイゼン内容	Before	After
	令和3年2月13日の福島県沖地震の際には、新型コロナウイルス感染症の影響で、り災証明書の申請・交付は郵送中心で行うこととなった。り災証明書の名簿はエクセルシートで管理しており、発行にあたってはその都度印刷するため、時間と手間がかかることが予想された。	RPAを導入し、複数人数のり災証明書を自動で一気に印刷できるようになった。これにより、時間短縮及び印刷ミス防止や誤送付防止につながった。
タイトル	東山霊園をパソコンやスマホからでも申し込むことができます！	
チーム名	環境政策課総務管理係東山霊園特命班（環境政策課）	
カイゼン内容	Before	After
	東山霊園の申請方法は、窓口もしくは郵送による申請書提出のみとなっていた。申請書提出時には、控えとして「受付票」を作成、交付することで、抽選時の本人確認をしていた。また、申請時に、住民票や戸籍謄本（埋葬者と申込者の関係が確認できない場合）を添付してもらっていたが、同一区画に複数の申請があった場合は抽選となり、落選した場合はムダになっていた。	申請方法に「かんたん電子申請」を追加したことにより、窓口等に出向くことなく申請が可能となった。「かんたん電子申請」では、「受付票」は作成せず、抽選時には、本人確認書類により本人確認をすることとした。さらに、添付書類（住民票や戸籍謄本）の提出時期を、区画確定後（抽選後）に変更したことにより、住民票や戸籍謄本を取得したにもかかわらず落選し、手数料がムダになるということがなくなった。 【電子申請件数】 11/8～11/24の募集では、全申請件数34件のうち、9件が電子申請